

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

昆虫もたくさん載っています

記号の説明:
①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《取扱所》 茅野市観光案内所 (茅野駅ビル2F)
《問合せ》 NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 ☎: 0266-75-1772

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

観察風景 (悦)

観察会の下見の時、森の中はキノコだらけ。これはスタッフの手に負えません。急遽、八ヶ岳総合博物館専門委員キノコグループの小山さんに講師をお願いし、午前中はキノコ中心の観察をすることにしました。キノコ狩りではありません。実物のキノコを見ながら、分類、構造、森での動きなどを学びました。しかし、如何に種名が分からないキノコが多いか、同定が難しいかを知りました。これでは、素人判断で食するのは危険ですね。



目からウロコ (伊)

「キノコは植物よりも、むしろ動物に近い」「キノコとカビは本質的には同じ」といった目からウロコの説明にはじまり、半日しっかりキノコの勉強ができました。

キノコの解説 (克)

小山さんの解説を興味深く聞かせていただきました。多岐にわたり、オーバーフローになりましたが、タマゴタケだけは、わかるようになりました。また、このような機会があるとうれいす。秋が近づき始めたすんだ空気の森に小さなアケボノソウですが存在感がありました。

タマゴタケ (悦)

タマゴタケ(食)、ベニテングダケ(毒)の見分け方を教えて頂きました。「傘にいぼがない」「柄や傘の裏は黄色」ガイドブック②59 参照

早速、食べた(口)さんから写真が送られてきました。



<食した感想>
色もきれいで歯ごたえも良く美味しく頂きました

9月に開花していた花たち (悦)

- ✿ ミゾソバ→ガイドブック①104
- ✿ ナンテンハギ→①107
- ✿ ヨツバハギ→②94
- ✿ ツリフネソウ→①113
- ✿ バアソブ
- ✿ キバナアキギリ→①105
- ✿ キツリフネ→②92
- ✿ アキノキリンソウ→①108
- ✿ キバナノツバニンジン→②95
- ✿ ノコンギク→①110
- ✿ ヤマハッカ→①105
- ✿ ヒメジョオン→②86
- ✿ ゴマナ→①110
- ✿ アケボノソウ→①111
- ✿ ハキダメギク→②90
- ✿ ヤマジノホトギス
- ✿ オトコエシ→①102
- ✿ ナンバンハコベ→①96
- ✿ ゲンノショウコ→①100



キバナアキギリ



ツリフネソウ

今日もいました！カメムシ君 (矢) 写真も

ニコニコ幼虫からキラキラ成虫へ変身するアカスジキンカメムシ



(終齢幼虫)



(成虫)

本日出会った昆虫 (馬)

- ジヤノメチョウ→②116
- クロヒカゲ→②116
- ヒョウモンチョウ数種類
- オオムラサキ2齢幼虫→②44



e

- スミナガン5齢幼虫→②47



e

- モンキチョウ→②110
- キタキチョウ→②110
- クスサン→②119
- オニヤンマー→②127
- アキアカネ類

ヤマジノホトギス (悦)



e

下見で写真のホトギスを3か所で観察しました。当会の市民の森調査記録に「2008年ホトギスの蕾を観察」という記述がありますが、それ以来観察されていません。10年ぶりの観察になります。しかし、本番の時にはもう花はなく、皆で観察はできませんでした。花の命は短し。

山頂広場の変遷 その2 (矢) 写真も

頂上広場西斜面はかつて土砂崩れが起き流された斜面には現在実生のヤマハンノキが叢立しています。そしてその隣には市民がカエデの森を創ろうと植樹したエリアがあります。桜の頂上広場・カエデの森、市民の森も日々変化していますね。



桜の頂上広場



カエデの森

紅葉の始まり (敏)

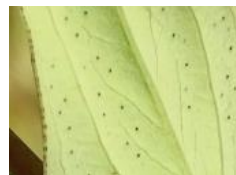
頂上広場の桜の紅葉が始まり、下には草もみじも所々始まっていました。エノコログサの色が秋を感じました。

驚き (桂) 写真も

・シロヌメリイグチがありました。カラマツのそばに出ることは知っていましたが、根と繋がっているとは考えもしませんでした。イグチの仲間は、カラマツの菌根菌で、木から栄養をもらうかわりに、木に水分などの養分を供給して、病気から守る役目もしているようです。キノコはその花、根本には深い世界があることに驚きました。
・オトギリソウを初めて見ました。判別法として葉の裏に小さな黒星が無数にあることを教えてもらい、今度は自分でも探せそうです。



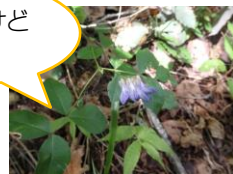
オトギリソウの若い果実



キツリフネ



ナンテンハギ(フタバハギ)



ヨツバハギ

似てるけど
四葉



いろいろ (㊦)

- ・アケボノソウが花ざかり。上品で落ち着いた雰囲気最高。
- ・スミナガシの終齢幼虫を見つけた。次回は何とかしてさなぎをみつけたい。
- ・きのこの世界は奥深く謎めいて迷路に入り込むよう。それでもおもしろい。

実りの秋ですよ (㊦) 写真も

- ・山の中にはキノコが色々いっぱい。ところが、くせ者揃いの毒キノコ、食べれるキノコ、それに怪しいキノコ達もです
- ・鮮やかな赤で目立つ「タマゴタケ」思わず見つけと声がでます
- ・小っちゃな「ヒメベニテングダケ」 毒キノコ!

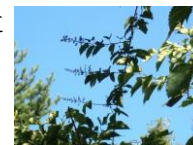


タマゴタケ



ヒメベニテングダケ

- ・スミナガシ、オオムラサキ幼虫も越冬に向けてモリモリ食べています
- ・「クマヤナギ」来年春には実が膨らみ色づき花と一緒に見えるかな



- ・草むらに隠れるように「フユノハナワラビ」
- ・「ツルニンジン」(ジイソブ)は実、でも「バアソブ」はまだ花ざかりで元気



ジイソブ



バアソブ

- ・山栗も落ち始めました

キノコ (そ)

- ・キノコの講義は初めて聞く事ばかりでした。奥が深いですね。
- ・カラカサタケ、初めて見ました。20cmもの笠を、細い「工」で支えているなんて、不思議なくらい。



- ・アケボノソウは、毎年必ず見たい花。ステキです。
- ・バアソブ、この花の色合い自然界の力作っている感じです。